

1 事業概要

		課名	下水道課	事業No.	387
事務事業名		会計	下水道事業会計		
		事業区分	政策	実施区分	新規
		開始	H30	終了	
根拠	主要区分	主	記号 計画等名称		
	戦略計画		10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる	
			11	災害に備え、社会基盤を強化し、防災意識を高める	
			12	リニア時代を支える都市基盤を整備する	
	分野別計画		第1次飯田市下水道事業経営計画		
			飯田市下水道事業経営戦略		
法令・例規等		下水道法			
		飯田市下水道条例			
		飯田市農業集落排水処理施設条例			
事業目的		対象	集合処理区域内（公共2処理区、特環2処理区、農集排9処理区、小規模2処理区）の住宅・事業所等の排水		
		意図	公衆衛生の向上と公共用水域の水質を保全する		

2 事業内容

30年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	・第1次飯田市下水道事業経営計画に基づき、下水道管路施設を適正に維持管理しました。 ・排水設備工事における確認・開始・完了等各種申請に対し関係法令に即した指導・確認・検査を行いました。 ・リニア関連等大型事業に伴う下水道本管・布設替、新設等に対し関係機関と連携し経済的・効率的な計画をしました。		下水道管路施設維持管理改修費				162,683	
			取付管・公共樹・引込管設置費				60,123	
			他事業関連布設替工事費				8,298	
			排水設備確認事務経費				7,725	
			量水器購入取替経費				6,452	
			水洗化促進活動経費				2,205	
			その他の経費			0		
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度	令和2年度	
	維持管理延長	km			682			
	公共樹設置	個所			96			
	管路新設・布設替延長	m			90			
	排水設備工事確認・完了検査及び水質検査	件			1,229			
	量水器購入取替	基			998			
	水洗化促進訪問戸数	戸			1,781			
30年度決算(千円)	予算額	363,146	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	247,486	(そ) 受益者負担金 36,625千円					
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ) 受益者分担金 6,173千円				
		県支出金	0	(そ) 公共下水道引込管工事負担金 405千円				
		地方債	0	(そ) 加入金 4,035千円				
		その他	108,388	(そ) 一般会計繰入金 61,150千円				
一般財源	139,098							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	74	2	1	1	0	0	165,441	149,198	管渠費
2	74	2	1	4	0	0	2,489	2,205	普及促進費
3	74	2	1	5	0	0	10,338	7,725	排水設備費
4	74	4	1	2	0	0	155,285	75,691	公共下水道事業費(単独)
5	74	4	1	4	0	0	13,950	6,519	特環下水道事業費(単独)
6	74	4	1	6	0	0	15,587	6,136	農業集落排水事業費(単独)
7	74	4	1	7	0	0	56	12	小規模集落排水処理事業費(単独)
振り返り課題認識		・管路施設の適正な維持管理を実施したことでトラブルを未然に防止するとともに、事故等には迅速確実に対応することで快適に下水道を使用していただくことができましたが、突発的に発生する広範囲の停電対応に課題が残りました。排水設備確認申請事務については、より効率的で迅速な事務処理となるよう工夫を加える必要があります。 ・水洗化を促進するため、水洗化率の低い地区を選定し休日訪問活動等を実施しました。							
上記の課題解決のための有効策		・突発的に発生する停電に対しては、ポンプ場への自家発電施設の設置を実施しており、今後も重要幹線のポンプ場には計画的な設置により災害に強い施設管理を行います。 ・排水設備工事確認申請事務の手順を確認し、見直しをしていきます。							
次年度に向けての取り組み		・点検・維持管理・流量測定等必要なデータの蓄積に努め、計画的な維持管理を実施します。 ・排水設備工事確認申請事務は、業務の手順を確認し効率化を図ります。 ・アンケート調査結果に基づき、水洗化促進の訪問活動を実施します。							